

第1号議案

平成21年度 事業報告書

特定非営利活動法人

せき・まちづくり NPO ふうめらん

1. 事業実施の概略

特定非営利活動法人せき・まちづくり NPO ふうめらんは、法人第3期となる今年度、フリーマガジンの発行の次の柱となる事業として、関市市民活動センターの運営を関市より受託する事ができた。

関市市民活動センターの運営受託は、これまでフリーマガジンの発行や他団体と連携事業を行ってきたことで、関市内での認知やソーシャルキャピタルが蓄積された結果であると考えられる。またこの事業は、関市が平成21年度予算で目玉事業として上げたものであり、市としても期待が高く明確な実績が問われる事業である。この事業により、関市内の市民活動支援とともに、市民がまちづくりに関わる場を作ることで、真の市民が主役^のになることを目指したい。

また、もう一つの柱であるフリーマガジンの発行では、発行部数を20,000部とし、中日新聞販売店様のご協力により、約13,000部を直接配布できるようになった。これにより、ふうめらんの知名度が格段に上昇したと考える。編集部ボランティアスタッフも幅広い年代から計40名ほどとなり、充実しつつあるが製作体制が不完全であり、毎号綱渡りの発行となっている。これまで懸案であった広告費等に関しては、年間契約数が増え、安定的に冊子の発行ができつつあると考える。

2. 特定非営利活動に係る事業

(1) 関の魅力発掘・発信事業

① 関・再発見フリーマガジンふうめらん発行事業

目的	関の魅力を関の人に知ってもらい、関を好きな人を増やす。
内容	ふうめらん第11号～15号を発刊 【媒体概要】 版型：B5 中綴じ 編成：カラー・特色1色混合 28頁 部数：20,000部 刊行：隔月（6月、8月、10月、12月、2月、4月発行） 【コンセプト】 ・市民を巻き込む体験型フリーマガジン（魅力を体感できる仕組みづくり） ・単なるクーポンマガジンではない（広告は全体の4割以下で読んで楽しく） ・作り手が楽しむ、顔の見える雑誌
実績	【発信した魅力】 第11号：モーニング特集 第12号：おてらりー 第13号：セキスポふうめらんど

	第 14 号：関の芸術家特集、上之保石ぶうツアー 第 15 号：温泉特集、関の刃物撰集 第 16 号：関入門講座、関の幼稚園特集 【配布】 中日新聞販売店様が配布に協力いただけるようになった
--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

②ママくらぶう事業

目的	関市が安心して楽しく子育てができるまちになるための、ママさんが欲しい関の魅力情報を発信する。
内容	フリーマガジンぶうめらんにてママくらぶうのコーナーを設け、ママさんが必要とする関の情報を特集した。企画・制作は、市内ママさんによる「ママくらぶう」を組織した。今年度はメンバーも増え、コミュニティとしての役割も出てきた。ママフリマの開催等、情報の発信だけではなく、具体的事業へつながりつつある
実績	今年度の企画 第 11 号：モーニング特集 第 12 号：子どもと一緒にいける美容院 第 13 号：ぶうめらんど 第 14 号：子どもと一緒にいける歯医者さん特集 第 15 号：ママと子どもの習い事特集 第 16 号：関の幼稚園特集 ◆イベントの開催 7 月：ママフリマの開催 ◆メンバー数 15 名

③「広報せき」市民のページ編集事業

目的	「広報せき」を面白く魅力あるものとし、「広報せき」の読者を増やす。そして、関の魅力を関の人に知ってもらい、関を好きな人を増やす。
内容	「広報せき」に市民のページをつくり、市民記者とともに、市民の目線で行政の情報、地域の課題等を楽しく伝える。 今年度は、年 2 回の事業を行った。
実績	広報せき 12 月 1 日号：「私たちが市長になったら～市民勝手に討論会」 広報せき 3 月 1 日号：「関のごみ仕分け人が行く」

④関市非公式キャラクターぶうによる魅力発信事業

目的	きぐるみ「ぶう」によって、関の魅力を市民や市外の人へ伝える。
内容	「ぶう」がイベント会場やショッピングセンターに出向き、ぶうめらんの PR や関の魅力を伝える活動を行った。今年度は、関市内の幼稚園、保育園を周り、園児がぶうを知り、親もぶうめらんのことを知るといった成果も生まれている。
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 武芸川保育園、富岡保育園、西部保育園、松溪保育園 ・ ゆるきゃらサミット In 多治見、ゆるきゃら梅まつり ・ サイレン塔ナイト、関祭り等

(2) 関の魅力を喚起する商品の開発・販売

①『遺伝』プロジェクト

目的	最大の地域課題『技術が途絶えていく』 技術を持った職人が多数いることが最大の強み。しかし、高齢化によりその技術が途絶えていく。地場産業の最大のこの課題にチャレンジし、地場産業が活性化することを目指す。
内容	刃物の商品だけを販売するのではなく、刃物の職人の想い、技術を物語としてしっかりと伝えた冊子とセットにして刃物を販売する。
実績	・刃物祭りにて、ぶうめらんの紙面上で取上げた職人の商品をテスト販売 ・第15号にて包丁通販ページ「セキHAMONO選集」

(3) 関のまちづくりに寄与する講座・研修・イベント事業

① 関市中をテーマパークに『セキスポぶうめらんど』

目的	関市民には、関は遊べる場所が多くないと思われる。しかし、取材を通して、すごい魅力を秘めたお店、場所がまだまだ知られていないことを感じている。「セキスポぶうめらんど」で、関の魅力を体感してもらうことを目指す。
日時	平成21年10月10日～11月15日
内容	ぶうめらん10月号を1冊丸ごとイベントばかりを掲載した冊子にする。関市全部をテーマパークにしようという企画。(ちなみに「セキスポ」の意味は「関のエキスポ」) アトラクションは、各お店、会社、個人、そしてぶうめらんが主催するイベントひとつひとつ。10月の1ヶ月間関の様々なところでイベントが開催されるようにする。
実績	40個のイベントを開催 この町中をテーマパークにしようという取組みは、多くのメディアに取上げていただいた(CCN、中日新聞、岐阜新聞等)

②サイレン塔ナイト

目的	関市の中心にあるサイレン塔を関のランドマークにする。サイレン塔を市民の憩いの場にする。
日時	平成21年12月12日～平成22年1月31日 12月12日に点灯式を開催
内容	市内中心にある「サイレン塔」は、現在、その任務を負え、静かにたたずんでいる。ぶうめらんで取材をする中で、その歴史、寄付した方の想いに触れ、もう一度市民に「サイレン塔」を思い起こしていただき、「サイレン塔」を市民の憩いの場にしたいと考えた。そのために、「サイレン塔」にイルミネーションを行い、歩く人たちの心を和ませた。
実績	マスコミ取材：2社(中日新聞・岐阜新聞) サイレン塔ナイト点灯式50名参加

③ 関祭りを 100 倍楽しむプロジェクト

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・神輿を担いだことのない若者に祭りの参加する楽しさを体感してもらうこと ・ 関祭りの本当は翌日の神事であることを広く市民に伝えること ・ 年々参加数が減っているあんどんみこしコンクールを盛り上げる
日時	平成 21 年 4 月 17 日 (土)
内容	ぶうめらんとして神輿を制作し、担ぎ手を広く市民から募集。あんどんみこしコンクールにぶうめらん神輿で参加した。
実績	子供 21 名、大人 24 名 総勢 45 名の参加 (過去最高参加者) 参加賞

(4) 関のまちづくりに寄与する人材育成・コンサルティング事業

① 下有知ふれあい見守りベンチ制作コーディネート事業

目的	下有知地区で小学生登校の見守りをしている方々の憩いの場を作る。市内のまちづくり団体とぶうめらんが連携することで、それぞれの活動がより充実し、さらなる波及効果を生むことをめざす。
内容	下有知青少年育成協議会と話し合いを進めながら、憩いの場となるベンチを制作コーディネートをした。
実績	平成 21 年 9 月に 3 基制作

(5) 関におけるまちづくり団体同士の連携推進をする事業

① 関市市民活動センター運営受託

目的	市民活動・地域活動のサポートによって市民の力を醸成することで、行政・企業・NPO の 3 つのセクターが協力したまちづくりの土壌の醸成をしている。
内容	<p><運営方針 4 つの柱></p> <ul style="list-style-type: none"> ① 市民活動・ボランティア対する、関市民へのすそ野を広げる ② NPO 法人だけではなく、自治会町内会等、地域活動もサポートし、地域型コミュニティ、テーマ型コミュニティが協働して地域社会の活性化を目指す ③ 既存のボランティア活動支援との協働、行政・企業との協働支援 ④ センターへ人が集まる仕組みをつくる <ol style="list-style-type: none"> 1. 市民活動にかかる情報の収集、提供に関する業務 <ol style="list-style-type: none"> 1) 関市内の市民活動団体の登録業務 2) ホームページの充実 3) 企業の市民活動応援団 2. 相談業務 3. 市民活動に係る調査研究及び普及啓発に関する業務 <ol style="list-style-type: none"> 1) 市民活動センター便りの発行

	2) 市民活動サロンの実施 3) 自治会へのNPO普及活動 4. 市民活動に係る人材育成、研修、交流に関する業務 1) 市民活動の講座																				
実績	【講座の開催】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>日時</th> <th>場所</th> <th>概要</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>NPO ってなに？</td> <td>2/2</td> <td>わかくさ・プラザ</td> <td>NPO 法人の概要、設立について</td> <td>19名</td> </tr> <tr> <td>市民活動のための会計</td> <td>2/26</td> <td>わかくさ・プラザ</td> <td>市民活動で会計をやるための基礎を学ぶ</td> <td>16名</td> </tr> <tr> <td>助成金獲得講座</td> <td>3/9</td> <td>わかくさ・プラザ</td> <td>助成金が獲得できる申請書を書くために、その考え方や書き方を学ぶ</td> <td>24名</td> </tr> </tbody> </table>	内容	日時	場所	概要	参加人数	NPO ってなに？	2/2	わかくさ・プラザ	NPO 法人の概要、設立について	19名	市民活動のための会計	2/26	わかくさ・プラザ	市民活動で会計をやるための基礎を学ぶ	16名	助成金獲得講座	3/9	わかくさ・プラザ	助成金が獲得できる申請書を書くために、その考え方や書き方を学ぶ	24名
	内容	日時	場所	概要	参加人数																
	NPO ってなに？	2/2	わかくさ・プラザ	NPO 法人の概要、設立について	19名																
	市民活動のための会計	2/26	わかくさ・プラザ	市民活動で会計をやるための基礎を学ぶ	16名																
	助成金獲得講座	3/9	わかくさ・プラザ	助成金が獲得できる申請書を書くために、その考え方や書き方を学ぶ	24名																
【相談件数（平成 22 年 1 月～3 月）】 <table border="1"> <tr> <td>概要</td> <td>市民活動団体、活動を始めたい個人に対する総合的な相談を行った。</td> </tr> <tr> <td>相談数</td> <td>31 団体</td> </tr> <tr> <td>主な相談内容</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・助成金獲得について、助成金申請書アドバイスについて ・NPO 法人の新規事業について ・NPO の立ち上げ相談 ・新たなボランティアをはじめたい ・組織運営について ・イベント・活動の広報 PR について等 </td> </tr> </table>	概要	市民活動団体、活動を始めたい個人に対する総合的な相談を行った。	相談数	31 団体	主な相談内容	<ul style="list-style-type: none"> ・助成金獲得について、助成金申請書アドバイスについて ・NPO 法人の新規事業について ・NPO の立ち上げ相談 ・新たなボランティアをはじめたい ・組織運営について ・イベント・活動の広報 PR について等 															
概要	市民活動団体、活動を始めたい個人に対する総合的な相談を行った。																				
相談数	31 団体																				
主な相談内容	<ul style="list-style-type: none"> ・助成金獲得について、助成金申請書アドバイスについて ・NPO 法人の新規事業について ・NPO の立ち上げ相談 ・新たなボランティアをはじめたい ・組織運営について ・イベント・活動の広報 PR について等 																				
【利用者数】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>来場総数</th> <th>カウンター対応者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 月</td> <td>151 名</td> <td>47 名</td> </tr> <tr> <td>2 月</td> <td>190 名</td> <td>76 名</td> </tr> <tr> <td>3 月</td> <td>180 名</td> <td>75 名</td> </tr> <tr> <td>4 月</td> <td>115 名</td> <td>52 名</td> </tr> </tbody> </table>	月	来場総数	カウンター対応者	1 月	151 名	47 名	2 月	190 名	76 名	3 月	180 名	75 名	4 月	115 名	52 名						
月	来場総数	カウンター対応者																			
1 月	151 名	47 名																			
2 月	190 名	76 名																			
3 月	180 名	75 名																			
4 月	115 名	52 名																			

特定非営利活動に係る事業会計財産目録

(単位：円)

特非) せき・まちづくりNPOぶうめらん
 全社

平成22年 5月31日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

普通 預金

関信用金庫本店

261,812

ゆうちょ銀行

55,920

セ関信用金庫本店

298,152

現金・預金 計

615,884

(売上債権)

未 収 金

606,000

売上債権 計

606,000

流動資産合計

1,221,884

【固定資産】

(有形固定資産)

什器 備品

137,057

有形固定資産 計

137,057

固定資産合計

137,057

資産の部 合計

1,358,941

《負債の部》

【流動負債】

未 払 金

587,475[✓]

前 受 金

広告収入

453,800[✓]

流動負債 計

1,041,275[✓]

負債の部 合計

1,041,275[✓]

正味財産

317,666[✓]

第3期特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

平成22年 5月 31日現在

特定非営利活動法人 せき・まちづくりNPOふうめらん

科目・摘要	金額		
I 資産の部			
1 流動資産			
(現金・預金)			
普通預金	615,884		
現金・預金計	615,884		
(売上債権)			
未収金	606,000		
売上債権計	606,000		
流動資産合計		1,221,884	
2 固定資産			
(有形固定資産)			
什器備品	137,057		
有形固定資産計	137,057		
固定資産合計		137,057	
資産合計			1,358,941
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	587,475		
前受金	453,800		
流動負債合計		1,041,275	
負債合計			1,041,275
III 正味財産の部			
正味財産		317,666	
(うち当期正味財産増加額)当期		472,363	
正味財産合計			317,666
負債及び正味財産合計			1,358,941

計算書類に対する注記

1 次期繰越収支差額の内訳は、次のとおりです。

科目	前期末残高	当期末残高
現金預金	231,841	615,884
未収金	569,800	606,000
合計①	801,641	1,221,884
未払金	1,279,677	587,475
前受金	0	453,800
合計②	1,279,677	1,041,275
次期繰越収支差額①-②	-478,036	180,609

平成21年度せき・まちづくりNPOぶうめらん収支計算書

平成21年6月1日から平成22年5月31日まで

科目	予算	決算	差異 (決算-予算)	摘要
I 経常収入の部				
1. 会費				
1) 企業正会員	1,200,000	1,020,000	△ 180,000	30,000 × 34社
2) 企業賛助会員	500,000	330,000	△ 170,000	10,000円 × 33社
3) 市民会員	90,000	55,000	△ 35,000	賛助会員 46名、正会員 3名
会費収入合計	1,790,000	1,405,000	△ 385,000	
2. 事業収入				
1) 関の魅力発掘・発信事業	4,900,000	4,641,148	△ 258,852	フリーマガジン広告費 4,541,398円 広報せき市民記者ページ99,750円
2) 関の魅力を喚起する商品の開発・販売	40,000	2,200	△ 37,800	ぶうグッズ販売
3) 講座・研修・イベント事業	70,000	176,880	106,880	ぶうめらんど、関まつり、わかくさままつり 等
4) 調査研究・政策提言事業	0	0	0	
5) 人材育成・コンサルティング事業	380,000	250,000	△ 130,000	下有知ふれあい見守りベンチ
6) まちづくり団体同士の連携推進をすすめる事業	0	2,366,500	2,366,500	市民活動センター、関高校OB美術展事
7) その他	0	0	0	
事業収入合計	5,390,000	7,436,728	2,046,728	
3. 寄付金収入	10,000	0	△ 10,000	
4. 助成金収入	1,700,000	1,500,000	△ 200,000	
5. 雑収入	1,000	176	△ 824	決算利息
経常収入合計	8,891,000	10,341,904	1,450,904	

平成21年度せき・まちづくりNPOふうめらん収支計算書

平成21年6月1日から平成22年5月31日まで

科目	予算	決算	差異 (決算-予算)	摘要
Ⅱ 経常支出の部				
1. 事業費				
1) 関の魅力発掘・発信事業	5,520,000	6,255,662	735,662	印刷費4,203,000円 デザイン費600,000円 人件費按分960,000円、500,000円 等
2) 関の魅力を喚起する商品の開発・販売	340,000	20,000	△ 320,000	
3) 講座・研修・イベント事業	990,000	475,772	△ 514,228	サイレン塔ナイト、関祭り、ふうめら んど、おてらりー等 人件費按分240,000円
4) 調査研究・政策提言事業	0	0	0	
5) 人材育成・コンサルティング事業	230,000	220,500	△ 9,500	下有知ふれあい見守りベンチ
6) まちづくり団体同士の連携推進をする事業	20,000	1,714,364	1,694,364	市民活動センター等
7) その他	0	0	0	
事業費合計	7,100,000	8,686,298	1,586,298	
2. 一般管理費				
役員報酬			0	
給料手当	120,000	203,987	83,987	人件費按分
会議費	30,000	76,458	46,458	会議室代、理事会、MTG用飲み物等
地代家賃	72,000	105,840	33,840	倉庫・駐車場・家賃
水道光熱費	96,000	90,418	△ 5,582	
消耗品費	60,000	68,668	8,668	用紙、文具、ラック等
通信運搬費	120,000	185,764	65,764	ネット通信、NTT、郵送費
旅費交通費	30,000	125,175	95,175	
広告宣伝費	0	0	0	
諸会費	70,000	60,460	△ 9,540	わかくさまつり負担金、JC賛助会費、ボ ラ連等
研修費	50,000	0	△ 50,000	
修繕費	0	0	0	
印刷製本費	30,000	5,000	△ 25,000	MTG資料印刷等
新聞図書費	40,000	45,643	5,643	季刊まちづくり、NPOジャーナル等
租税公課	10,000	8,600	△ 1,400	
保険料	0	11,960	11,960	雇用保険・ボランティア保険等
外注費	10,000	0	△ 10,000	
慶弔費	0	5,000	5,000	
支払手数料	1,000	3,988	2,988	
雑費	0	0	0	
一般管理費合計	739,000	996,961	257,961	
予備費	22,141	0		
経常支出合計	7,861,141	9,683,259	1,844,259	
前期繰越収支差額		-478,036		
経常収支差額	1,029,859	180,609		
Ⅲ 正味財産増加の部				
1. 資産増加額				
1) 当期収支差額		658,645		
2) 固定資産取得額		0		
正味財産増加額合計		0		
Ⅳ 正味財産減少の部				
1. 資産減少額				
1) 当期収支差額		0		
2) 備品減価償却額		186,282		
正味財産減少額合計		186,282		
当期正味財産増加額		472,363		
前期繰越正味財産額		-154,697		
当期正味財産合計		317,666		